

よむ²NEO No.21

R2.5.14(木)

「全然気づかなかった」、
なんていう大人には
ならないよ。

「きみの存在を意識する」

梨屋アリエ・作 (ポプラ社)

NDC.913

新作映画の公開を待つ間に



小説版で復習を...

小説名探偵コナン

「赤井秀一セレクション」
「赤井一家セレクション」
「大怪獣ゴメラ VS
一反面サイバー」

青山剛昌・原作
(小学館) NDC913



□ なんとも心惹かれるタイトルです。

5つの章から成るこの物語は、ある中学校に通う
クラスメイトが順番に語りになっています。

毎週、読書感想カードを書いて、その枚数を競うという課題が出され、

本を読むのが極度に苦手なひすいは、先生の期待に応えられないことに苦しんでいます。

理幹は、「読書のプライバシーを守りたい」と言ってカードの提出を拒みます。

漢字を書くことのできない心桜は、ひらがなだけのカードを書くのが精一杯。

テストをパソコンで解答できるよう合理的配慮を求めますが、受け入れてもらえません。

悩みや生きづらさを抱えるそれぞれの登場人物たちが、

深く考え、真剣に語りあいながら、自分の答えをさがして もがいていますが、

担任の角田先生には、どの子も「やっかいな子」としか映っていません。

□ この物語を読むと、人の「目に見えない部分」は、海よりも深いのだとわかります。

それを知れば、「この人はこういう人」と、目に見える部分だけで、

安易に人を決めつけたり切り捨てたりすることなど、とてもできません。

人が自分以外の人間を理解するなんて、どだい不可能なこと。

それでも、よそたり想像したりすることならできるはず。

そのはじめの一步が、理解したいと思うこと。

つまり「きみの存在を意識する」なのでしょう。

□ あなたなら、ここに登場する中学生たちの誰に一番共感するでしょうか。

私は、自分のためにも誰かのためにも戦うと決心した心桜の強さに惚れ込みました。

子どもって強いなあ。強くて賢くて、美しいなあ。

そんな気持ちで胸がいっぱいになった作品です。

「妖怪ひみつ大百科」

村上健司・著

(永岡書店) NDC.388

□ ASクラブの男の子に教えてもらいました。

彼の愛読書ナンバーワンです。私は
妖怪4コマが気に入りました!

イラストがカッコいい!

